

## 再評価時再評価結果(平成28年度)

担当課 : 徳島県砂防防災課

担当課長名 : 酒井 彰彦

### 事業の概要

事業名	通常砂防事業	事業区分	通常砂防事業	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県阿波市阿波町芋場	箇所名	芋場谷		
事業概要	渓流保全工 L=308m, 砂防堰堤1基(H=5.5m L=47.5m V=1600m <sup>3</sup> )				
事業の目的・必要性	本溪流の平成16年10月の台風23号で土石流が発生し、下流人家1戸が半壊し、一時的に上流集落(77戸)が孤立するなど甚大な被害を及ぼしたため、災害関連緊急砂防事業に着手し砂防堰堤を施工した。しかし流末施設である溪流保全工が未整備であることから対策が必要であり、平成19年度より通常砂防事業に着手した。				
総事業費	300 百万円		進捗率	57%	

#### 位置図 計画概要図

**芋場谷通常砂防事業**

#### 流域概要図

**①芋場谷(全景)**

**②保全対象(人家)**

**③整備状況(溪流保全工)**

**凡例**

- 砂防堰堤(予定)
- ▨ 溪流保全工(予定)

**④既設堰堤 (H16災害関連)**

### 事業評価結果

事業全体の投資効率性	基準年度	B/C	残事業B/C	総費用	総便益
	平成28年度	1.1	2.1	3.5億円 用地費・工事費 等	4.0億円 人家4戸、道路等
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保全対象の人家4戸とその住民の人命と財産を保全する。(一般資産被害軽減効果・人的被害軽減効果)</li> <li>・上流集落の災害発生時の救援・避難路となる県道を保全し、地域の防災力の向上を図る。</li> </ul>				
社会経済情勢等の変化	H26.8月に発生した広島豪雨災害により土砂災害に対する防災意識が一層高まっている中、当事業の実施においては土砂災害に対して地域の安全や避難所を確保しながら、土地利用や保全対象に影響を与えることなく、防災面の向上に寄与している。				
事業の進捗状況	第1期工区である溪流保全工の整備を進めている。現在の進捗率は事業費ベースで48%である。				
感度分析	感度分析の結果においても事業の効果は確保されている。 事業費+10%:1.0, 事業費-10%:1.3, 工期+10%:1.1, 工期-10%:1.1, 資産+10%:1.2, 資産-10%:1.0 残事業費+10%:1.9, 残事業費-10%:2.3, 残工期+10%:2.1, 残工期-10%:2.1, 残資産+10%:2.3, 残資産-10%:1.9				
事業進捗の見込み	溪流保全工は完成間近である。平成32年度の完成を目指し、引き続き第2期工区の事業展開を図る。				
対応方針	継続				
対応方針理由	地元からの要望も高く、事業進捗が見込めることから総合的に判断した。				

※総費用、総便益は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

### 継続の理由

想定される被害や社会的影響も大きく、事業効果は高い。加えて第1期工区の溪流保全工は完成は完成間近である。これらの状況を総合的に判断し、事業を継続する。